

令和7年度第1回沼田市総合教育会議会議録

- 1 開催日
令和7年9月19日（金）
- 2 場所
テラス沼田 庁議室
- 3 出席者
沼田市長 星野 稔
教育長 竹之内 篤
教育委員 永井 和恵
教育委員 武藤 英子
教育委員 長谷川 清
教育委員 小黒 陽子
事務局 教育部長 星野 盾、教育総務課長 栞原 満博、学校教育課長 林 武史、生涯学習課長 武井良和、文化財保護課長 原澤 秀樹、スポーツ振興課長 阿部 勝良、教育総務課長補佐 真船 啓子
- 4 開会 午後1時30分
- 5 挨拶 星野市長
竹之内教育長
- 6 会議録署名人の指名
市長が小黒 陽子委員を指名
- 7 意見交換 議長：星野市長
(1) 小中学校の統廃合に伴う施設等の整備について
教育総務課長から、沼田市公共施設等総合管理計画の概要及び沼田市の学校施設における老朽化状況等について説明

◎主な意見
(永井委員)
薄根小学校改修のときに仮校舎を作ると言っていたが、空き校舎となる池田小学校の校舎を使うというのは難しいのか。仮校舎を作るのが無駄な気がする。

(教育総務課長)
改修の時点で池田小学校の利活用がどのような状況になっているかということもあるので、そういう点も含めての検討になると思う。薄根小学校の改修については直近2、3年の話ではなく、利南東小学校、沼田中学校の改修後の予定である。改修工事に係る全体的な年度計画のバランスもあるが参考にさせていただく。

(長谷川委員)
廃校になった学校の跡地活用が早く決まるといい。多額の予算がかかるの

で少しでも穴埋めができればいいと思う。

(市長)

学校が廃校になる地区の方には、早く利活用方法を示してほしいと言われるが、丁寧に進めている。市当局とすると教育委員会も含めて、どういう利活用がいいか相談をしている。企業が使いたいという場合には地域の理解が得られるよう情報をきちんと伝え、適切に事前に相談をすることが大切になってくると思う。各地域のためにプラスになることをやっていきたいと思っているので、教育委員の皆さんにはご相談する場面が出てくると思うがよろしくお願ひしたい。

(武藤委員)

スクールバスの購入計画はかなり大きな金額となっているが、学校へ通う児童・生徒の安全を考えた場合に、やはりスクールバスが一番いいと思う。保護者の送迎にも限界があると思うので、スクールバスの運行ができると保護者も安心すると思う。

(小黒委員)

スクールバスの購入計画で、利南東小学校が1台購入予定だが補助金はないのか。

(教育総務課長)

利南東小学校は沼田東中学校への校舎移転であり、統廃合に絡むものではないので補助対象とならない。

(小黒委員)

購入するとなった場合、年間の維持費はどのくらいになるのか。

(教育総務課長)

バスを保有するとなると、燃料費、車検・点検整備費、修繕料を含めると1台当たり100万円単位で費用はかかる。スクールバスの運転手の雇い上げ、運行委託をする場合には事業者への委託料もかかってくる。

(小黒委員)

購入するのか委託にするのか、令和8年度には統合が始まるが決定はいつになるのか。

(教育総務課長)

新年度予算に計上をするので、11月には方向付けをして予算要求をしていく。

(2) 不登校対策における連携・協働について

学校教育課長から、誰一人取り残されない不登校対策Nプロジェクトについて説明

◎主な意見

(永井委員)

不登校に対しての施策、校内教育支援センターは画期的で良いと思う。子供の状況はそれぞれ違うので、教室の中にいられない子、パニックになる子もいる。学校の中に一部屋あって落ち着いて勉強ができるのはいいと思った。

(長谷川委員)

不登校支援の3つのキーワードは当を得ていると思った。不登校は児童だけでなく保護者への支援も必要となる。様々な対策があって素晴らしいと思う。

(武藤委員)

先生が学ぶということは、子供にとっても先生にとっても成長できることなので、研修というのはとても大切だと思う。覚えたことを実際に使うには訓練が必要なので、何回も勉強して高めていくのがNプロジェクトなのだと思う。

(小黒委員)

統廃合によって不登校の児童生徒が増える可能性が大いにある。環境が大きく変わる子供たちが増えるので慎重に対応していただきたいと思う。

(市長)

委員の皆様から激励の言葉を頂いたと思っている。これからも沼田の義務教育課程が充実したものになるように全力を尽くしていきたいと思う。

(3) その他

(市長)

市の課題、解決していくためにやっていかななくてはならないことをまとめさせて頂いた。子供が生まれなくなっている。社会インフラの維持が10年、20年後の世代に重くのしかかってくる。浄水場・ごみ処理場のことも先伸ばしにしないと決めている。次の世代のことを考えると8年後に市税収入を10億円増やしたいという思いがある。魅力ある地域づくりはずっと続くので、そこに投資をしていきたいというのが総体の流れである。市長部局もミーティングをしては課題に取り組んでいる。企業誘致も始まってくるので決して悲観することばかりでなく、新しい産業ができたり、若い世代が帰ってこられる環境を作っていきたいと思う。

森林文化都市アクションプランの推進と沼田女子高校跡地の利活用が、魅力的なまちづくりの視点として面白い取組になってくると思う。これからも情報提供をさせていただくので率直なご意見を頂きたいと思う。

8 閉会 午後2時33分